

大地震の被災動物を救うために

(中間報告資料)

1月17日から9月15日まで

1995年1月17日午前5時45分、大地が揺れ、以来地表が三日三晩燃えつづけて大地震災害が起こった。

大地震の被災動物を救うために厳寒の真只中、動物愛護の全てを期して老若男女のボランティアと獣医師が真剣作業の日々を過ごした。

本資料集は、動物救護活動に関わるあらゆる材料、調査あるいは報告を1冊にまとめたものである。さらに、この資料集は単に動物救護活動を報告したにとどまらず、行政上の手続き様式、地元獣医師会および開業獣医師の活躍、日本獣医師会、各地方獣医師会の対応、外国の動物救護マニュアルなどを収めた。

中間報告ながら、阪神・淡路大震災シンポジウムとともに、一つの記録として残し、来たるべき災害に備えるべき必携の書として、ここに御高覧頂き、尚最終資料の作製に当り皆様の御提言等を頂ければ幸いに存じます。

この資料集の編集に当たって、終始ご指導を賜りました東京大学 林 良博先生、大阪府立大学 大橋文人先生、太田光明先生に深く謝意を表する次第であります。

資料集の印刷は、日新堂印刷株式会社(吉田好廣氏)に協力願って印刷したもので心より感謝申し上げます。吉田氏自身も被災され、自宅は全壊したが幸いにして会社は比較的軽い被災であったことと、自宅で飼育していた犬及び猫が兵庫県南部地震動物救援本部設置の三田動物救護センターにお世話になったことなどから、快く協力していただいた。

平成7年10月22日

阪神・淡路大震災シンポジウム運営委員会
運営委員長 鷲尾 勝彦
(兵庫県南部地震動物救援本部本部長／(社)兵庫県獣医師会会長)